

えんぼとたんぽの始発駅 里山ビオトープ二俣瀬	会 報 第 262 号	2023年5月25日 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 編集責任者：原谷 一誠
---------------------------	-------------	--

1. 活動報告（事務局 記）

- 5月7日（日）天気は雨でしたが、会員12名で、水路の溝浚い、草原ゾーンと市道の草刈り、蓮田と草原ゾーンの小川のエコアップとして、主にキシノウヅの除去、観察路に支障のある木の枝の剪定の作業をしました。
- 5月20日（土）天気は曇りのち晴れとなり、親子自然観察隊はふれあいセンターや厚東川周辺にて野鳥観察を行いました。確認できた野鳥は、17種と8種（声のみ）でした。参加者は、親27名、子28名、会員18名と講師としてきらら浜自然観察公園の高尾レンジャーでした。また、作業として、渡辺会員が植えられたサツマイモの廻りの柵に電気柵を設置しました。観察路の草刈りもしました。
- 5月24日（水）中国電力ネットワーク（株）の14名の方がボランティア活動に来られ、ため池の川側の橋の撤去、橋の補修用材木の腐食剤の塗布、須賀河内川の葦の刈取りと片づけの作業を行われました。つくる会は関根・松本・河本・原谷会員で対応しました。

2. 今後の予定（事務局 記） ◎行 事

- 5月28日（日）維持活動（溝あげ・草刈り）、田植準備（代掻き・整地）
- 6月4日（日）稲作体験・田植え（親子自然観察隊・二俣瀬子ども会を招聘）
- 6月18日（日）維持活動（草刈り）

3. 来訪者の声

今回はありません。

4. 会員の声 「 」 （ 記 ）

今回はありません。

5. 親子自然観察隊 「野鳥観察」 （菅 哲郎 記）

外部講師として「新光産業きらら浜野鳥観察公園」より野鳥レンジャーの高尾はるか氏をお招きし、鳥についていろんな勉強を行いました。曇り空でしたが暑くもなく快適な気温の中、フィールドを歩き、いろんな鳥類を見学して楽しみました。今日は宇部市の運動会と重なった隊員もあり、33 家族 55 名の隊員の内 20 家族 28 名の出席でした。それでも講師お一人では大変でしたが、各隊員の皆さんの協力をいただき、無事行事を終えることができました。

みられるであろう鳥たちは 36 種類ほどの予定でしたが、今日はそれでも 25 種類ほどの目撃と鳴き声が聞こえ、アオサギやウ、トビなどの大型の鳥を見て、みんな感激したようです。小型の鳥たちはやはり見つかりにくく、子供達の目にはあまり見かけられなかったようです。それでも「ツバメ」が結構多く飛翔してくれ、みんなの目を楽しませてくれたようでした。観察路は一部車道にかかりますが、大部分は農道で車も少なく思った以上に安全でした。何度か車に遭遇しましたが、事故もなく無事観察会を終えました。

最後に「鳥合わせ」を行ってどんな鳥がいたかを全員で確認しました。見られた鳥は 17 種類、鳴き声の聞かれた鳥は 8 種類ほどでした。

私たちは毎年同じことを繰り返して慣れていますが、今年は特に初参加の隊員とご家族が多いようで、いろんな鳥や生き物、植物に遭遇するたびに驚き感激されます。また、いろんな特技を持った隊員（虫好き、虫嫌い、爬虫類好きなど）がみられ、今年も楽しい観察会になりそうです。

運営を支えてくださるビオトープの会員の方々、今年もよろしくお願いいたします。



観察に出る前、野鳥の説明を行う高尾講師



野鳥の観察を行う隊員たち



最後に「鳥合わせ」を行いました

親子自然観察隊の感想

★湯浅（母）

普段ゆっくり鳥の声を聞くことがないので、娘と一緒にとてもいい時間を過ごせました！ありがとうございました。

★秋田 菜那

楽しかった。もう少し早く歩いてほしい。

★秋田（母）

街中では見られない鳥も観察できたので、勉強になりました。

★篠田（母）

今日もお世話になりました。私も行きたかったのですが、上の子の用事のため、英義だけ行かせてもらいました。楽しかった～♪と言って帰ってきました。プテラノドンみたいな鳥がいたよ！と報告してくれましたが、サギのことでしょうか（笑）。お天気にも恵まれ、子供達も自然に触れて、野鳥を観察して、有意義な半日を過ごしたと思います。どうもありがとうございました。

★溝邊睦

猿がいてびっくりしました！怖いみたいだけど、遠くから見るのはかわいかったです！いろんな鳥を見たり鳴き声を聞けて楽しかったです。

★溝邊義人

いろんな鳥の観察ができて、みんなと楽しい時間を過ごせてよかったです。

★溝邊(母)

わ猿がいると聞いていましたが、初めて間近で見て人に慣れていてびっくりでした。たくさん野鳥の姿や鳴き声を観察できる楽しかったです。観察隊の子供たちのためにたくさんのご配慮のおかげで楽しくいつも過ごせて感謝でいっぱいです。ありがとうございました！

★嶋本(母)

本日はお世話になりました。普段何気なく見ている野鳥ですが、実はたくさんの種類が身近に生息しているのだと知ることができました。ありがとうございました。

★新谷和矢

サルに遭遇してびっくりしたけど、かわいかった。普段あまり見たことない鳥を見れてよかったです。

★新谷(父)

親子で自然に触れ合えてとてもよかったです。

★岡村政吾

色々な鳥を知ることが出来て、もっと知りたくなりました。去年キジの卵を見つけたことを思い出して、いつかキジも見たいなあと思いました。

★岡村悠正

よく見える双眼鏡を借りて、色々な身近な鳥をはっきり見ることが出来て、とても楽しかったです。また行きたい！

★岡村(母)

特徴を知ることが出来ただけでも、普段目にしていなくても名前や種類を知らない鳥を見分けることが出来ました。なかなかその生態を知るところまではいきませんが、子ども達と一緒に興味を持って学んでいきたいと思います。

6. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 （ 管 哲郎 記）

(87) オオフタオビドロバチ *Anterhynchium flavomarginatum*

スズメバチ科ドロバチ亜科

北海道より沖縄まで日本全土に生息します。体長 16～18 ミリで体色は黒に黄色の模様が
あるやや大型～中型のドロバチです。ドロバチとは巣をつくるときに泥を利用することか
ら名づけられたようですが、他のドロバチとは少し違い、主に竹などの穴を利用し幼虫を
育てます。その時には部屋割りのための壁や幼虫を守るための出入り口を泥で塗り固め外
敵から守ります。幼虫に与えるエサは主にガの幼虫（ハマキガ、メイガ）ですが、幼虫の
成長に必要な量の食物を一度に与え、泥壁で飼育房を仕切ります。泥は自分の唾液を混ぜ
てドロダンゴを作り巣に運び壁を作ります。

活動時期は主に夏ですが、体が大きいので葉の上などでよく目立ちます。攻撃性はなく
人を刺すことはありませんが、手で握りしめたりはしないように、幼虫を麻酔する針はも
っていますよ。

ドロバチの仲間は 10 種類以上で多いのですが、10 ミリ前後のものが多く見分けやすいの
です。しかし同じ大きさの「オデコフタオビドロバチ」というそっくりさんがいますし、
トックリバチ類やスズバチ類も大きさが同じで間違いやすいかもしれません。



オオフタオビドロバチ



オオフタオビドロバチ



オデコフタオビドロバチ



スズバチ

7. 会よりの連絡事項

- 1) 6月4日の田植えの準備で、3日(土)に前準備として、苗の受け取り・運搬、手植え用のロープの準備などを行います。具体的な内容は5月28日の作業で話し合います。

8. 編集後記 (大野 靖子 記)

令和2年のコロナ禍からはじまり、3、4年は子どもの部活や塾の送迎と、申し訳ありませんが足が遠のいていました。そんな中、つくる会はずっとあるもの、今はちょっと行けないけれど車を運転する70才過ぎくらいまでは通えると良いなと思っていました。ところがつくる会は解散???とのお知らせを聞き、非常にあせり、今年度はできる限り参加したいと思っています。コロナ禍前までは毎年、福川こどもクラブ(周南市内の任意団体)で年1回活動させていただきました。今年度も4年ぶりにお世話になります。草刈り等の維持管理をしていただいているからこそ、子どもたちは安心してフィールドで活動できます。背の高い草むらになっていたら、足を踏み入れることは難しいです。また、この維持管理(昔の里山の手入れ)や外来種への対応等により、生息する生き物や植物がより豊かになると、このつくる会で教えていただきました。子どもにとって、里山の生き物についていろいろな体験ができ、また普通だったら出会わない他の大人の方たち(土木や農作業など何でもできる方もいれば、植物や生き物にとっても詳しい方々もいる!)と関わることのできるこのビオトープは、他にはない特別な場所です。例えば近年よく聞く子ども食堂を例にあげれば、子ども食堂は食を通じて比較的取り組みやすく、子どもにとっても大人にとっても参加しやすい居場所になるとして県内各地で増えています。が、「里山ビオトープ二俣瀬」は、他の市町ではなかなか容易に真似できない特別な場所であり、しかもこれを長年継続維持されてきたということはとてもすごいことだと思います。運営の仕方が皆さんにとってより負担がないように改善され、これからも長くこの場所が続いていただきたいと願います。超蛇足ですが、大人向けの植物等の観察会なども定期的に行っていて(講師は有名な先生でなくともOKで)、その都度ボランティア募集も呼びかけられたら、作業に参加される人も増えないでしょうか。。。維持管理の作業に集中した合間の東屋でのほっとひと息。皆さんが各々たわいもないおしゃべりをされる中、山や田んぼを眺めてぼ～っとしている時(ぼ～っとしていても許される居場所)が私の場合は大好きでした。維持管理でのそれぞれの楽しみを多くの方に知っていただきたいです。